

## 学校教育アンケートについて

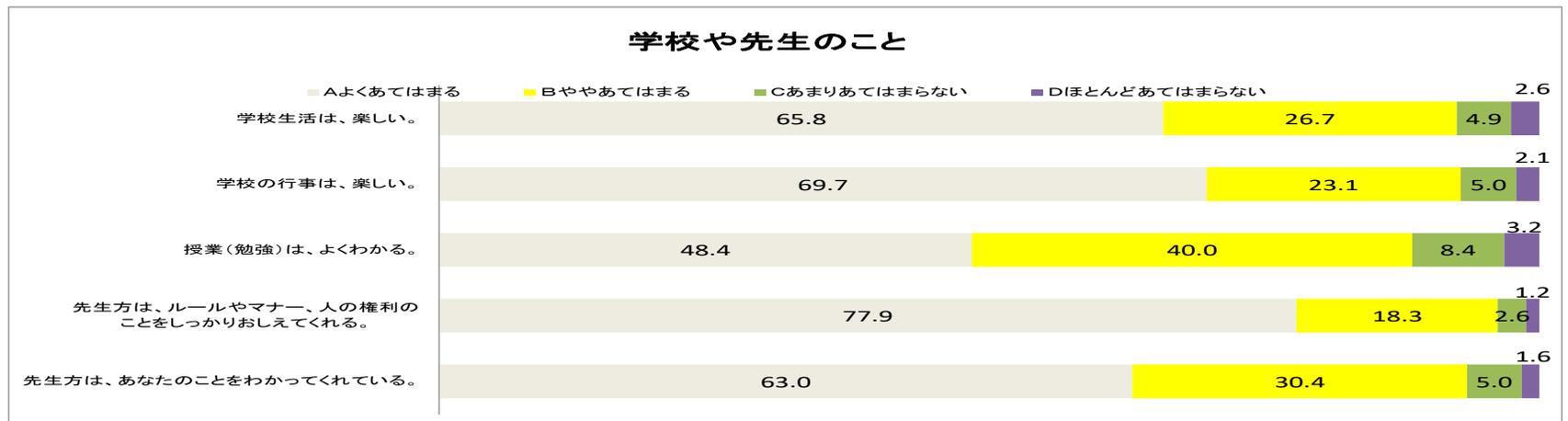
津田小学校

令和5年度も残すところ、あとわずかとなりました。日頃は、本校教育にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。子どもたちは、自分の目標を決め、学習、生活にともしっかり取り組み、新年度への準備を着実に進めているところです。

保護者の皆様には、本年度も学校教育に関するアンケートにご協力をいただきありがとうございます。ここに、学校自己評価（児童、保護者）の結果及び考察しましたことをお知らせします。今年度の評価結果から、学校の教育活動を検討し、指導内容・方法の工夫改善を図り、子どもたちが生き生きとした学校生活を送れるように努めてまいります。

## 学校教育に関する児童アンケート結果

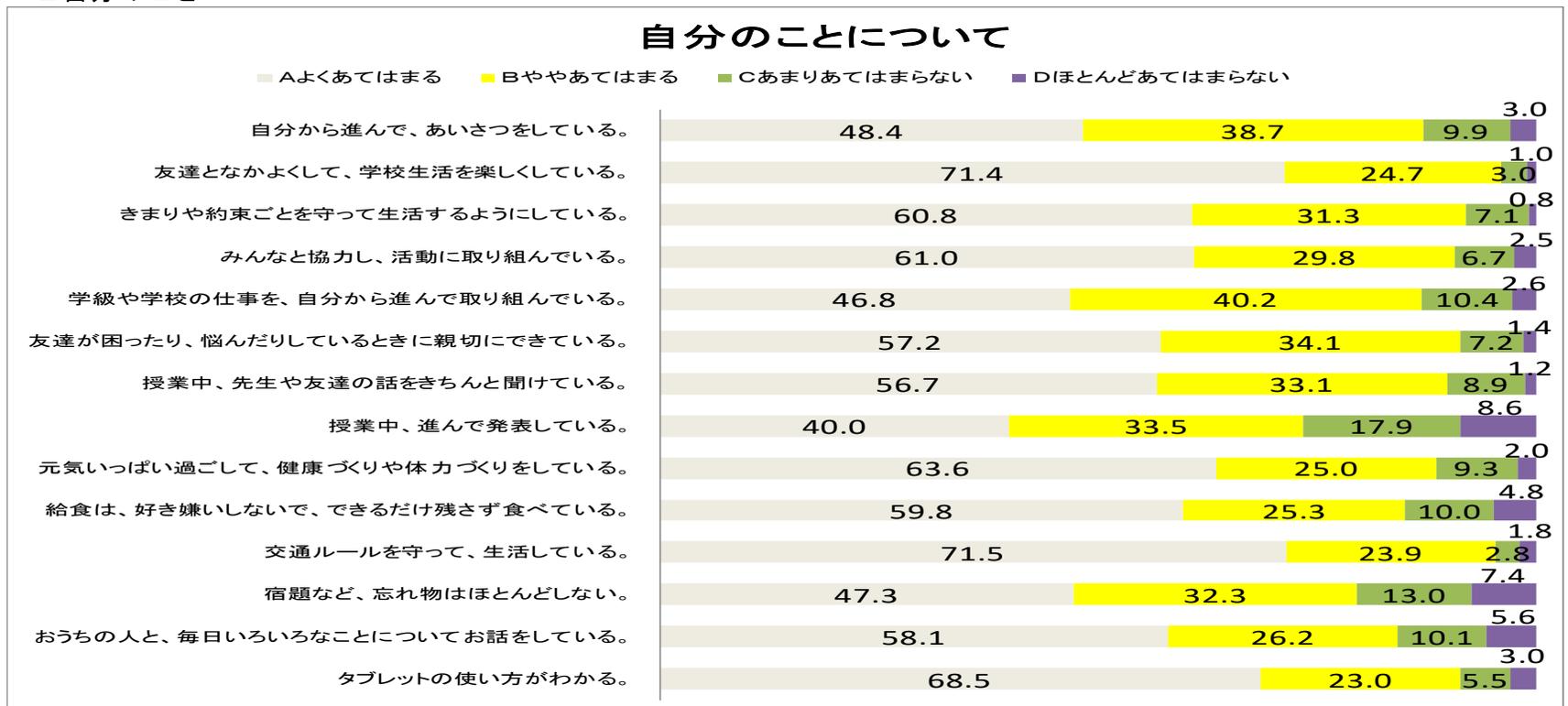
## 1. 児童アンケート調査結果



## I 学校や先生のこと

- ・学校生活及び行事について、肯定的な回答割合は90%以上となっている。特に、「よくあてはまる」と答えた割合は65%以上と高い。本年、児童理解をこれまで以上に進め、すべての子どもが楽しいと答えられることを目標に取り組んできたが、さらに、発達段階を見取り、学習・生活・仲間へのアプローチを分析・検討し、重点の見直しを図りたい。
- ・授業については、約88%が肯定的に答えているが、さらに、「よくあてはまる」割合が高まるよう学習活動の充実とともにわかる楽しさを実感させていきたい。
- ・「ルール・マナー、人権」への取組について、「よくあてはまる」と答えた割合は約78%と高く、今後も、学校のルール・マナーを含め規範意識の醸成に努めたい。
- ・「児童理解」については、約93%が肯定的に答えている。子どもたちの少しの変化にも気を配り、安心して生活できるような場づくりに努め、信頼関係を築いていく必要がある。

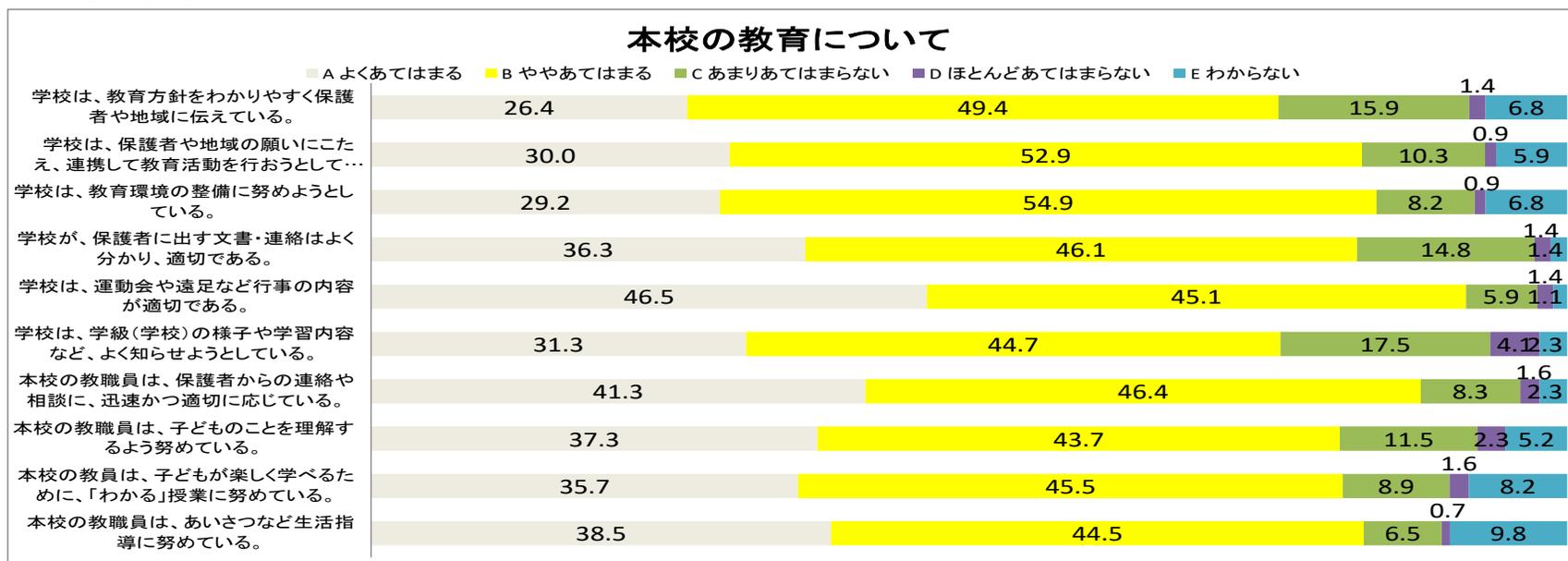
## II 自分のこと



- ・肯定的に答えた児童の割合が80%以上の項目が12項目あり、かなり高い評価結果となっている。しかし、「忘れ物」「発表」については、さらなる取組が必要と考える。「忘れ物」については、学習意欲が低下することも考えられ、自ら忘れ物をしないよう取り組んでいけるような働きかけが必要である。「発表」については、昨年度よりも約8%向上したが、タブレット等も活用しながら表現活動を充実させ、コミュニケーション力の育成に努めたい。
- ・学校生活における友達とのかかわりでは、今年度の人権教育研究大会のテーマである「仲間づくり」の成果が表れきたと考えられる。「仲よく」は、約71%が「よくあてはまる」と答えており、その他の項目と比較して高い結果となっている。また、「協力」が約61%、「親切」約57%と高い割合となった。今後も具体的な行動をほめることによって一人一人の自己肯定感を育み、さらなる実践力を身に付けさせたい。
- ・体づくり（体力・給食）の項目については、「よくあてはまる」と答えた割合は高く、自己管理を啓発してきた取組の成果と考える。今後も、健康づくりの認識を高め、家庭と連携した体力づくり・食育を推進したい。
- ・今年度から、項目に加えたタブレットの使い方に関しては、90%以上がある程度理解していると思われる。今後も継続した指導を行っていききたい。
- ・自分のことの評価に、「ほとんどあてはまらない」と回答した割合が数%ある。この割合を見逃すことなく、基本的な生活習慣をはじめ、規範意識、関わり等社会性を身に付けていけるよう、常時活動の充実はもとより、仲間づくりを進め、家庭との連携も一層推進していくことが重要と考える。

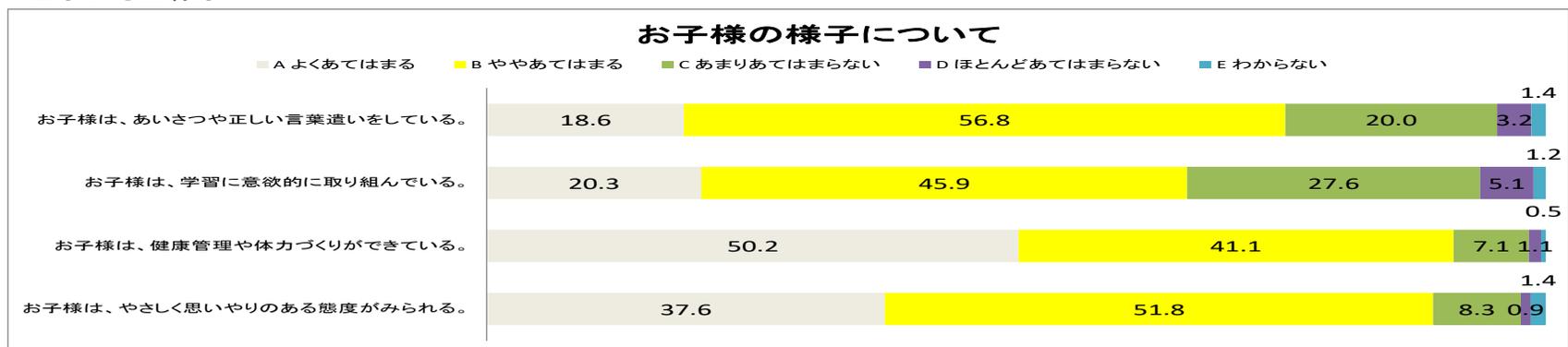
## 学校教育に関する保護者アンケート結果

### I 本校の教育



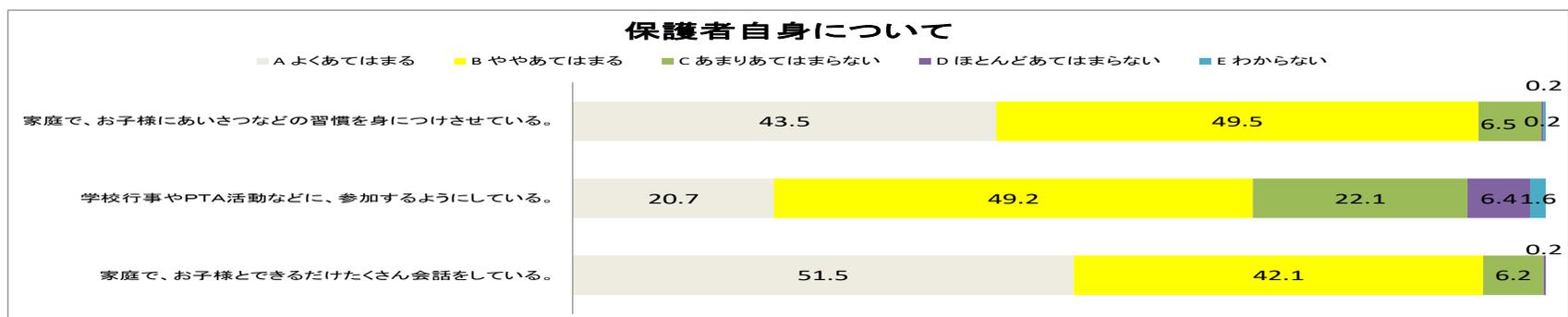
- 本校の取組に対して、肯定的に答えた保護者の割合は、2つの項目を除いて残りの項目は80%を超えており、学校運営については昨年同様高い評価結果となっている。
- 評価が高かった項目は、「教育環境」「行事の内容」「相談対応」であった。特に、「児童理解」については教育の中心に据え、重点的に取り組んできた。学校だけの取組ではなく、保護者とともに子どもたちの成長を支えられるよう情報交換を密にし、協働で取り組む必要があると考える。
- 「教育方針」「様子や内容の周知」については、肯定的に答えた保護者の割合が80%に達しなかった。機会あるごとに情報発信し、学校について理解を深めてもらい、家庭や地域と共同歩調で子どもの成長を支えられるよう改善を図りたい。
- 子どもたちにとって、授業がわかることが学校が楽しいと思えることにつながる。一人一人に応じた、きめ細かな指導を進め、子ども自身が学習に対する達成感を感じることで、自主的・積極的な学習になるよう取組を継続したい。
- あいさつをはじめとした「生活指導」は、日々の常時指導とその場面や機会での指導が必要であり、家庭や地域との連携も欠かせない。引き続き、保護者との連携を深め、子どもたちの様子について具体的に情報交換をしていくことで指導の改善を図りたい。

### II 子どもの様子



- お子さまの様子について、「あいさつや言葉遣い」「学習意欲」の肯定的な割合が低く十分とは言い難い。これまでも、重点として取り組んできた「あいさつ・言葉遣い」ではあるが、今後も継続していくこと重要である。保護者も、元気よく、マナーを守る子どもを重視していると考え。そのためにも地域に広げる仕組みづくりを工夫したい。来年度も学校運営の柱として重要な項目と考え取り組んでいきたい。また、「学習意欲」についてはまず、授業でしっかりと学び、新しい知識や技能を習得し、家庭で自主的に宿題や自主学習をすることで、家庭学習の習慣化につなげていきたい。
- 「体力づくり」「思いやり」の項目で肯定的に答えた保護者の割合が比較的高かった。「体力づくり」について、本校では休み時間などに外遊びをする児童がたいへん多く、今後も継続して、体力づくりや適切な健康管理を進めていくことが重要である。更に、4年生以上の放課後の体力作りへの参加も積極的に呼びかけていく。また、「思いやり」の項目では、これからも一人一人の自己肯定感を高め、物事に対して素直に受け止める心や困っている人に優しく接する気持ちなどを育てていきたい。

### III 保護者の様子



- 今年度は、運動会等ほんどの学校行事やPTA活動が実施できた。ただ、参加したくても時間的に難しいことや役員の運営負担も気になる所であり、今後の在り方や運営上の工夫についても検討していきたい。
- 「子どもとの関わり」では、家庭教育の重要性を認識し、地道に取り組んでいる様子がうかがわれ、学校での様子や興味のあることについて、家庭で会話することが、子どもたちの気持ちの安心・安定となり、好ましい生活習慣の定着にもつながると考える。

## アンケート結果のまとめ

本年度は、人権教育研究大会の会場校としてたくさんの方に津田小学校の子どもたちの姿を見てもらいました。その結果、子どもたちの自己肯定感や自己有用感が高まってきました。また、新型コロナウイルス感染症が5類となり、ほとんどの学校行事やPTA活動を実施することができ、保護者及び地域の方たちに数多く参加していただきました。しかし、早く行事の予定を知らせてほしい等の要望もあり、今後は、学校便りや学年便り、マチコミメール等を通して、早く確実にお知らせできるように取り組んで参ります。また、子どもたちにとって、学校は大切な学びの場です。これからも、全ての子どもが進んで授業に参加し、一人一人が「わかった」「できた」「楽しい」「一緒に学習できてよかった」と実感できるような授業づくりを進めていくことが重要であると考えています。

児童アンケートでは、肯定的評価の高い結果となりましたが、「意見の発表」の項目は、まだ課題として挙がっています。前年度よりは、高い割合となっておりますが、タブレット等も活用しながら表現活動を充実させ、コミュニケーション力の育成に努めたいと考えています。また、「忘れ物」についても課題が残ります。忘れ物があると、授業に参加しにくくなり、学習意欲の低下にもつながります。子ども自身が忘れ物をしないという気持ちをもつための手立てが必要で、家庭とも連携しながら、継続して取り組んでいきたいと考えます。

保護者アンケートでもかなり肯定的評価が高い傾向が見られました。しかし、「様子や内容を知らせる」の項目は課題です。機会あるごとに情報発信することで学校教育についての理解を深めていただこうと思います。

今年度の評価結果を受け止めて、子どもたちが安心して学校生活を送り、楽しく元気いっぱいの活動ができるよう、学校教育活動の充実を図る取組を行ってまいりますので、引き続き、本校教育へのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。